株式会社タスキホールディングス
2026年9月期 決算説明資料

2026.11.10

TASUKI HOLDINGS

Life Platformer

東証プライム市場：166A

index

1. FY2026.9 業績
2. 事業の状況
3. 株主還元と配当方針
4. FY2027.9 通期計画
5. appendix

index

1. FY2026.9 業績
2. 事業の状況
3. 株主還元と配当方針
4. FY2027.9 通期計画
5. appendix

決算ハイライト

10期連続(※1)の増収・増益を達成

売上高	EBITDA(※2)	営業利益
1,019.0億円	141.3億円	136.3億円
（YoY＋37.0%）	（YoY＋55.3%）	（YoY＋54.6%）

経営計画	第1次中期経営計画を前倒しで達成し、新たに第2次中期経営計画を策定
事業進捗	IoTレジデンス・資産コンサルティングの利益率向上などにより、営業利益はYoY＋54.6%と大幅伸長
仕入状況	仕入件数はKPIに対して＋27.3%の210件となり、棚卸資産残高は過去最高の852億円
新規事業	サステナブルな事業基盤の拡大に向け、プライベートバンキング事業をスタート

（※1）タスキ（単体およびタスキプロス連結）業績を通算
（※2）EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋株式報酬費用＋PPA(棚卸資産の評価替え)取崩額として算出

TASUKI HOLDINGS
Life Platformer

PLサマリ

- IoTレジデンスにおける高収益の大型プロジェクトの引き渡しが、全体の売上総利益率を牽引
- 投資有価証券の売却益として4Qに特別利益561百万円を計上、当期純利益率を0.3ポイント引き上げ

（単位：百万円）

	FY2025.9	FY2026.9 （※1）	増減率	FY2026.9計画	FY2026.9達成率
売上高	**74,412**	**101,909**	+37.0%	**100,450**	**101.5%**
売上総利益	**14,792**	**21,415**	+44.8%	–	–
売上総利益率	19.9%	21.0%	–	–	–
販売管理費	**5,976**	**7,785**	+30.3%	–	–
EBITDA （※2）	**9,102**	**14,132**	+55.3%	**11,500**	**122.9%**
EBITDAマージン	12.2%	13.9%	–	–	–
営業利益	**8,815**	**13,630**	+54.6%	**11,000**	**123.9%**
営業利益率	11.8%	13.4%	–	–	–
経常利益	**7,808**	**11,661**	+49.3%	**9,300**	**125.4%**
経常利益率	10.5%	11.4%	–	–	–
特別利益	**8**	**722**	8,925.0%	–	–
特別損失	**0**	**204**	–	–	–
親会社株主に帰属する当期純利益	**4,933**	**7,588**	+53.8%	**5,800**	**130.8%**
純利益率	6.6%	7.4%	–	–	–

（※1）FY2026.9 2QよりZISEDAIを連結
（※2）EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋株式報酬費用＋PPA(棚卸資産の評価替え)取崩額として算出

TASUKI HOLDINGS
Life Platformer

BSサマリ

- 順調な仕入に加え、一部プロジェクトは収益最大化のため販売をFY2027.9へ変更し、棚卸資産残高は過去最高の852億円
- 自己資本比率は3Qの一時的な低下から適正水準まで回復
- エクイティ調達は行わない方針

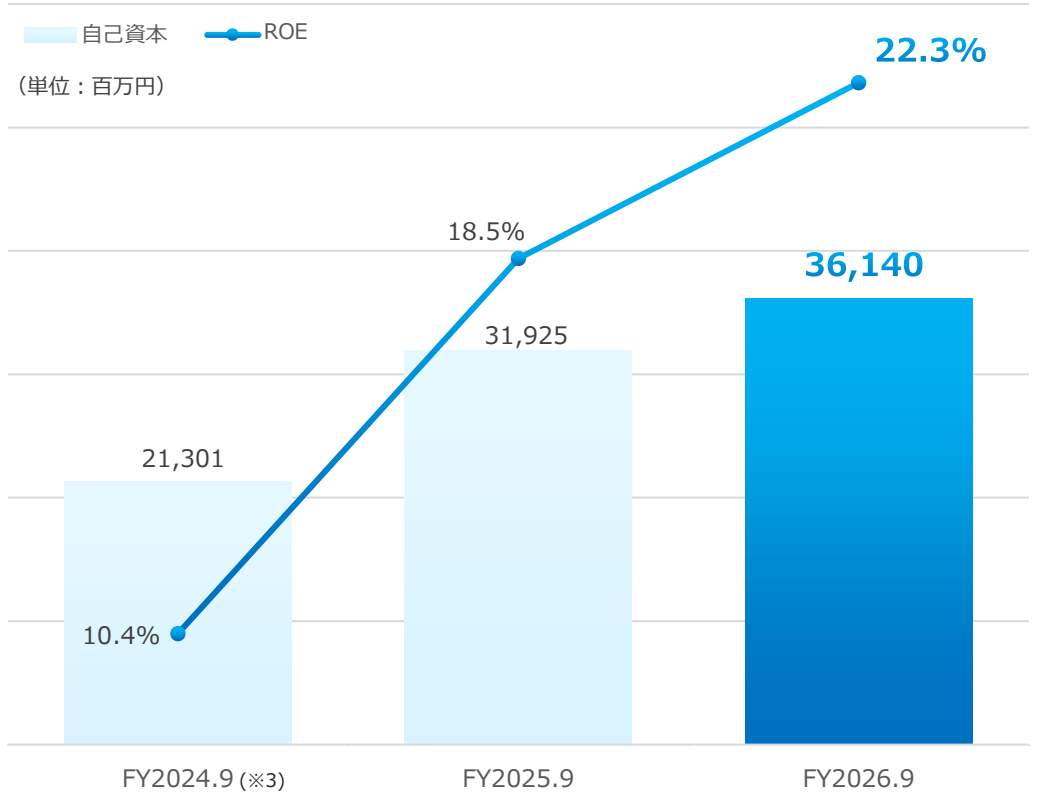
（単位：百万円）

	FY2025.9	FY2026.9	増減額	増減率
流動資産	75,577	**114,970**	39,393	+52.1%
現金及び預金	26,203	**26,035**	△167	△0.6%
（仕掛）販売用不動産・前渡金	46,394	**85,275**	38,880	+83.8%
固定資産	7,656	**6,621**	△1,035	△13.5%
有形固定資産	2,897	**1,879**	△1,018	△35.1%
無形固定資産	3,075	**2,714**	△361	△11.8%
資産合計	83,248	**121,602**	38,353	+46.1%
流動負債	19,745	**34,991**	15,246	+77.2%
社債・借入金	16,893	**28,416**	11,522	+68.2%
固定負債	30,498	**48,625**	18,127	+59.4%
社債・借入金	30,112	**46,563**	16,450	+54.6%
負債合計	50,243	**83,616**	33,373	+66.4%
純資産	33,005	**37,986**	4,980	+15.1%
負債・純資産合計	83,248	**121,602**	38,353	+46.1%
自己資本比率	38.3%	**29.7%**	―	―

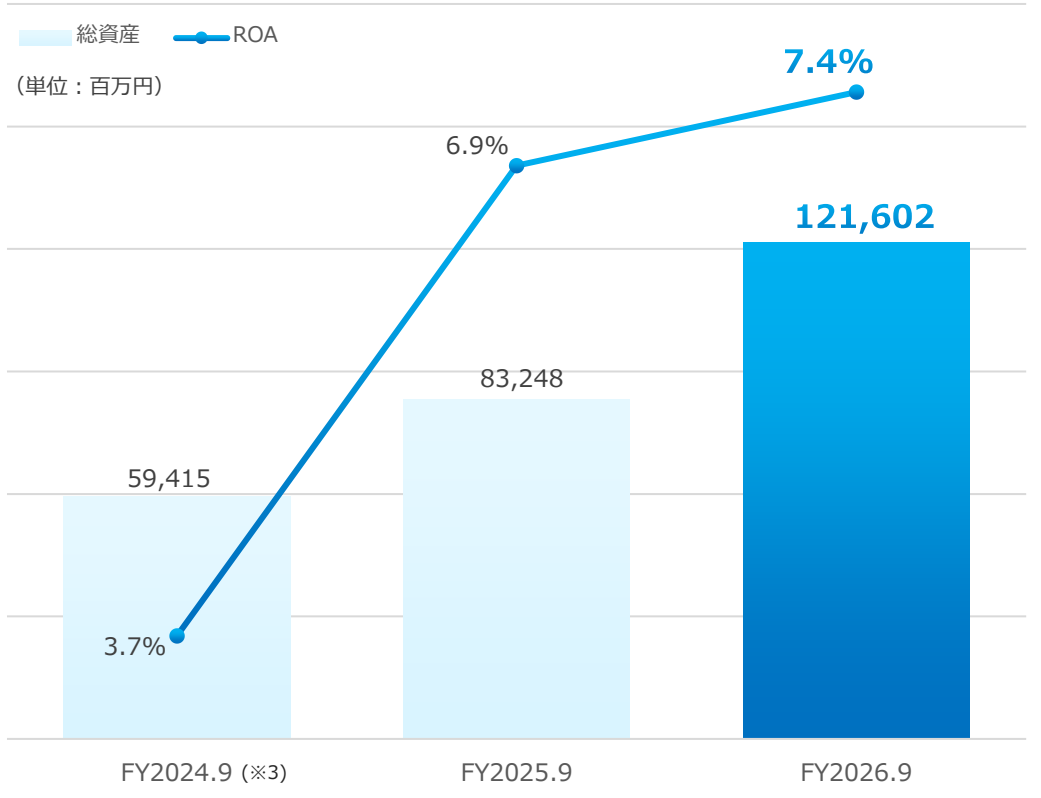
ROE・ROA

- 利益率の向上もあり、ROE・ROAともに改善
- ROEはYoY＋3.8ポイントとなりKPIを大きく上回る水準、ROAもYoY＋0.5ポイント

ROE(※1)と自己資本の推移



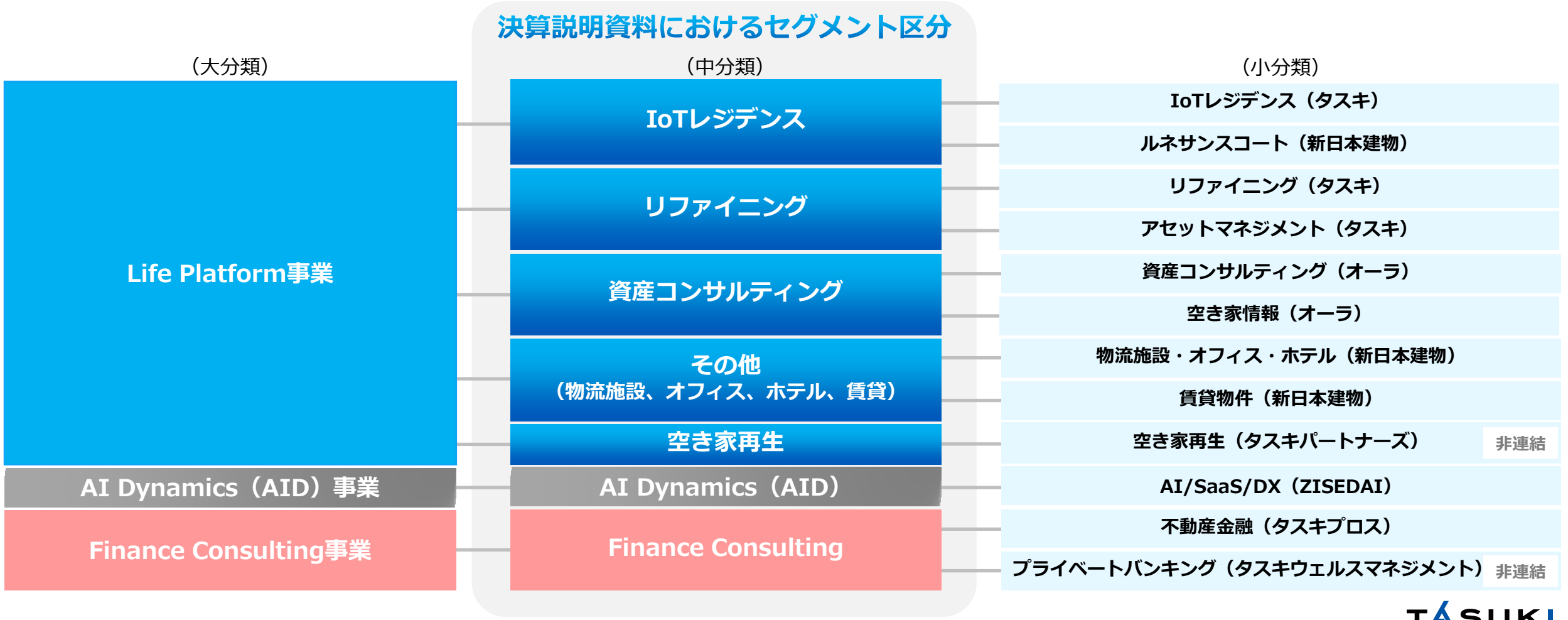
ROA(※2)と総資産の推移



（※1）ROE：親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均自己資本（ただし、FY2024.9については連結初年度のため期末自己資本を用いて算出）
（※2）ROA：親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均総資産（ただし、FY2024.9については連結初年度のため期末総資産を用いて算出）
（※3）FY2024.9の親会社株主に帰属する当期純利益は、タスキ・タスキプロスの12ヶ月分および新日本建物の6ヶ月分ならびにオーラの5ヶ月分の実績

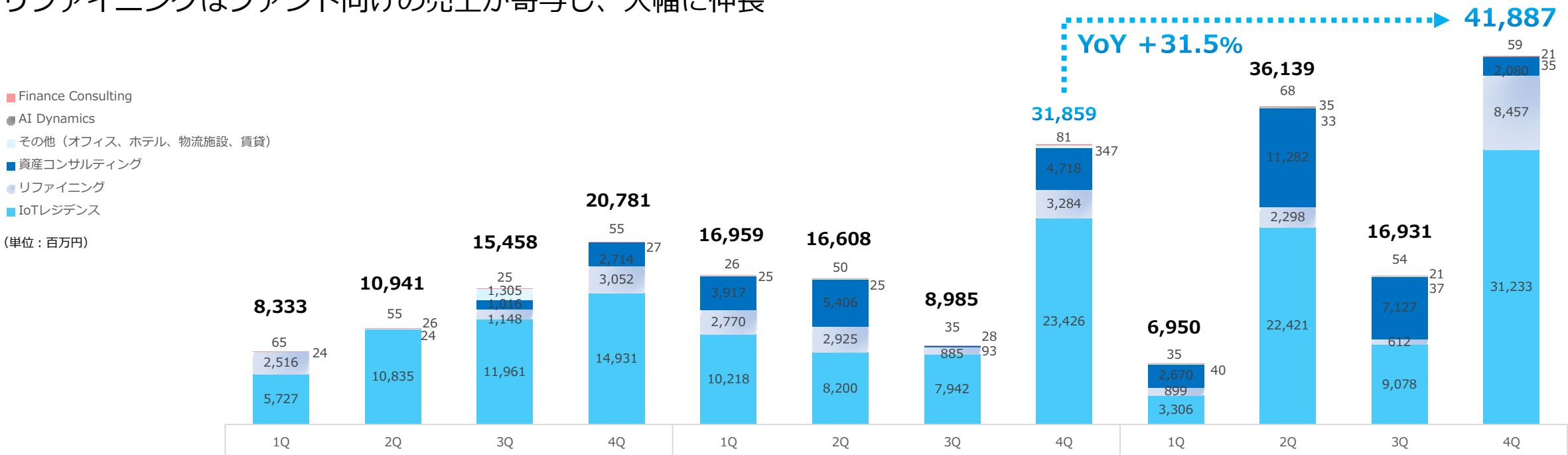
セグメント区分

- 富裕層の資産戦略をサポートするプライベートバンキングを新設
- 事業セグメントを以下の通り分類し、決算説明資料においては中分類のセグメント区分で開示



四半期売上高の推移

- IoTレジデンスにおいて、複数の大型プロジェクト（販売価格20億円超が2件、10億円超が7件）の売上を計上
- リファイニングはファンド向けの売上が寄与し、大幅に伸長

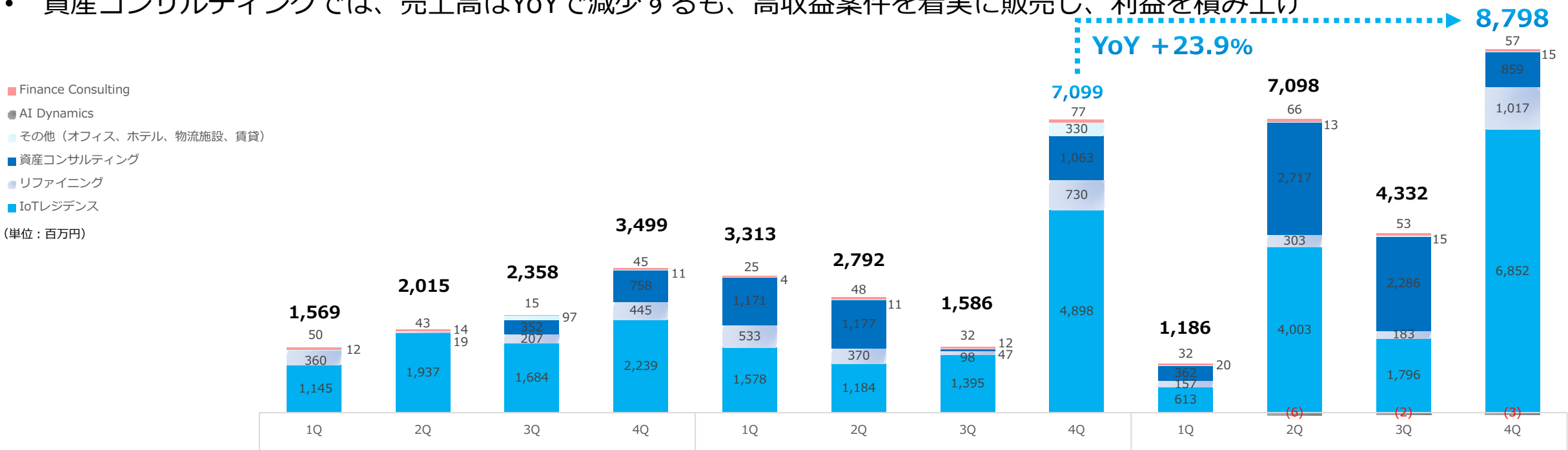


売上高（単位：百万円）	FY2024.9				FY2025.9				FY2026.9			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
Finance Consulting	65	55	25	55	26	50	35	81	35	68	54	59
AI Dynamics（AID）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	21	21
その他（オフィス・ホテル・物流施設・賃貸）	24	26	1,305	27	25	25	28	347	40	33	37	35
資産コンサルティング	0	0	1,016	2,714	3,917	5,406	93	4,718	2,670	11,282	7,127	2,080
リファイニング	2,516	24	1,148	3,052	2,770	2,925	885	3,284	899	2,298	612	8,457
IoTレジデンス	5,727	10,835	11,961	14,931	10,218	8,200	7,942	23,426	3,306	22,421	9,078	31,233
合計	**8,333**	**10,941**	**15,458**	**20,781**	**16,959**	**16,608**	**8,985**	**31,859**	**6,950**	**36,139**	**16,931**	**41,887**

※新日本建物（単体）は3月決算であったがタスキHDが9月決算のため、過去実績も9月決算に置き換えて表示、FY2024.9 1Q～FY2024.9 2Qはタスキ（タスキプロス連結）と新日本建物（単体）の単純合算数値
※FY2026.9 2QよりZISEDAIを連結、2Qには期首からの累計値を表示

四半期売上総利益の推移

- IoTレジデンスでは、4Qに販売した大型物件の約半数が売上総利益率25.0%超となり、利益率が向上
- 資産コンサルティングでは、売上高はYoYで減少するも、高収益案件を着実に販売し、利益を積み上げ

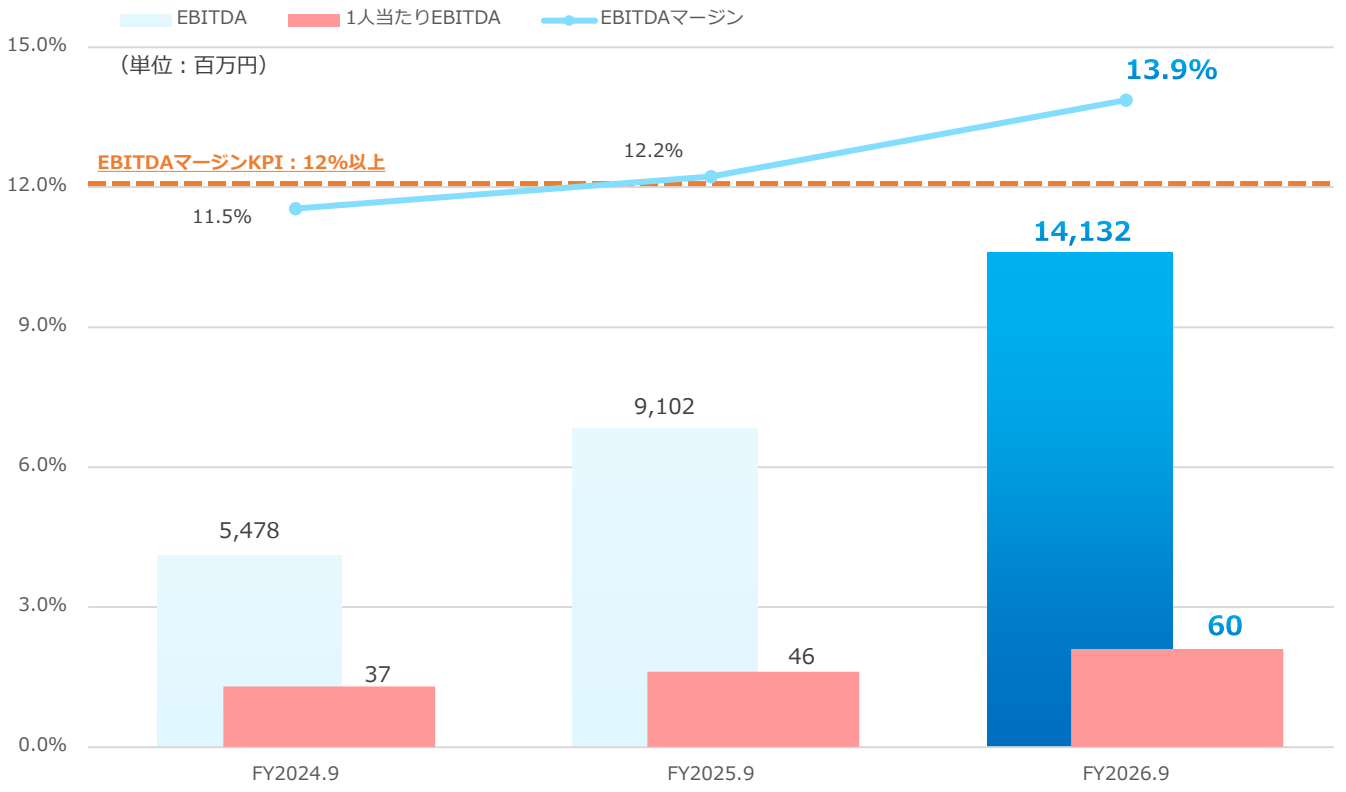


売上総利益率	FY2024.9 1Q	FY2024.9 2Q	FY2024.9 3Q	FY2024.9 4Q	FY2025.9 1Q	FY2025.9 2Q	FY2025.9 3Q	FY2025.9 4Q	FY2026.9 1Q	FY2026.9 2Q	FY2026.9 3Q	FY2026.9 4Q
Finance Consulting	76.3%	79.8%	60.9%	81.3%	94.6%	96.2%	91.6%	95.0%	93.2%	97.3%	99.1%	96.9%
AI Dynamics（AID）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-18.6%	-13.8%	-17.1%
その他（オフィス・ホテル・物流施設・賃貸）	51.6%	53.3%	7.5%	41.9%	19.8%	43.9%	42.6%	95.0%	50.1%	42.0%	41.1%	43.3%
資産コンサルティング	-	-	34.7%	27.9%	29.9%	21.8%	50.9%	22.5%	13.6%	24.1%	32.1%	41.3%
リファイニング	14.3%	82.5%	18.1%	14.6%	19.3%	12.7%	11.1%	22.2%	17.5%	13.2%	29.9%	12.0%
IoTレジデンス	20.0%	17.9%	14.1%	15.0%	15.4%	14.4%	17.6%	20.9%	18.6%	17.9%	19.8%	21.9%
合計	**18.8%**	**18.4%**	**15.3%**	**16.8%**	**19.5%**	**16.8%**	**17.7%**	**22.3%**	**17.1%**	**19.6%**	**25.6%**	**21.0%**

※新日本建物（単体）は3月決算であったがタスキHDが9月決算のため、過去実績も9月決算に置き換えて表示、FY2024.9 1Q～FY2024.9 2Qはタスキ（タスキプロス連結）と新日本建物（単体）の単純合算数値
※FY2026.9 2QよりZISEDAIを連結、 2Qには期首からの累計値を表示

EBITDA（※）の推移

- 経営統合後のPMIが着実に進捗し、EBITDA、EBITDAマージンがともに上昇
- 役職員1人当たりEBITDAは、FY2026.9に60百万円（YoY＋30.4%）となり、事業規模の拡大と生産性の向上を両立



最重要課題であるキャッシュ創出力をEBITDAで可視化

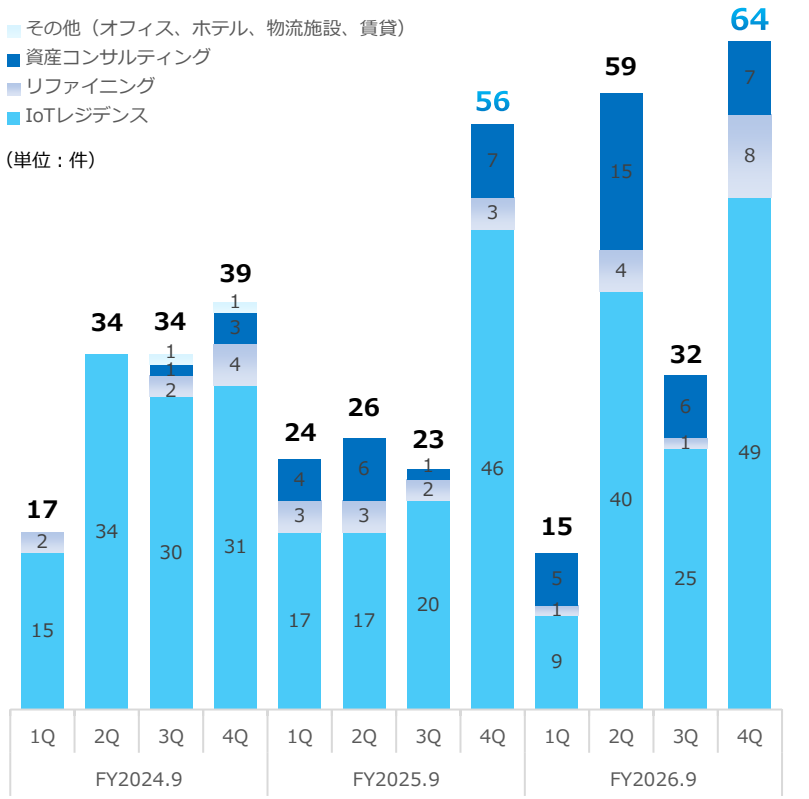
	FY2025.9	FY2026.9	
営業利益	8,815百万円	13,630百万円	YoY +54.6%
減価償却費	74百万円	118百万円	YoY +60.1%
のれん償却額	349百万円	349百万円	YoY ±0%
株式報酬費用	34百万円	63百万円	YoY +83.2%
棚卸資産ステップアップ	△170百万円	△28百万円	YoY +83.1%
EBITDA	9,102百万円	14,132百万円	YoY +55.3%

（※）EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋株式報酬費用＋PPA(棚卸資産の評価替え)取崩額として算出

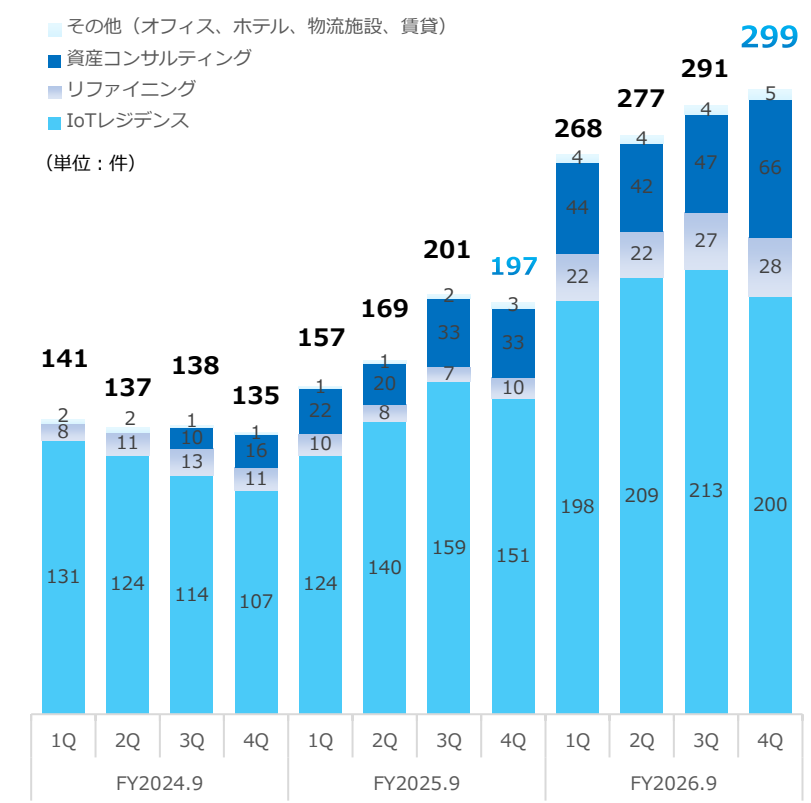
販売件数と棚卸資産の状況

- IoTレジデンスおよびリファイニングにおいてファンド向けの売上が寄与し、四半期販売件数は過去最高の64件
- 順調な販売活動を継続しつつも、一部のプロジェクトについては収益最大化のため販売をFY2027.9へ変更したことなどにより、棚卸資産も過去最高を更新

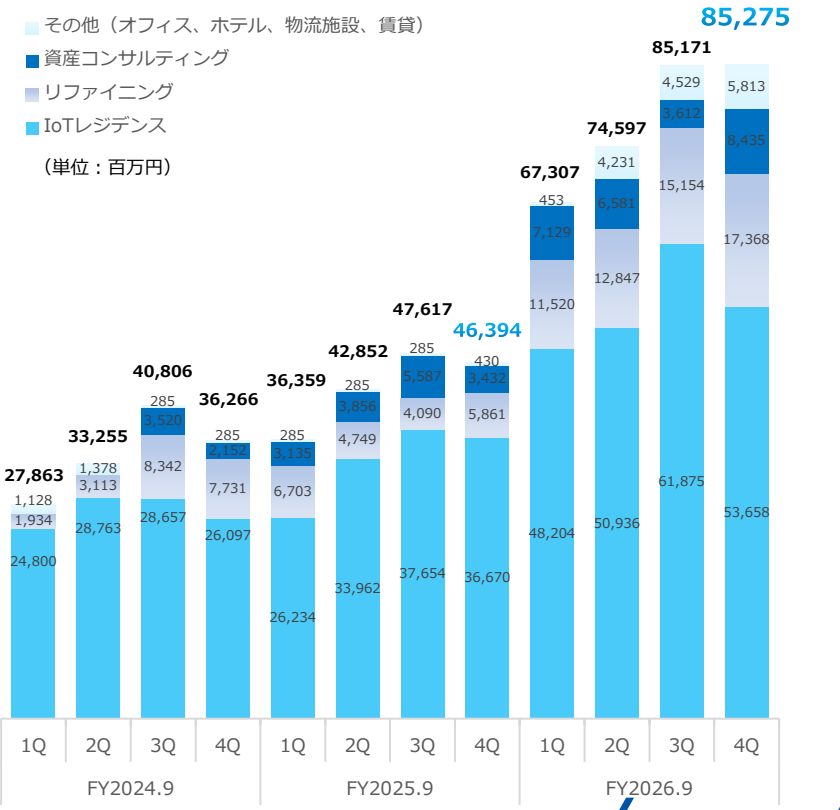
販売件数



棚卸資産件数



棚卸資産残高（※）



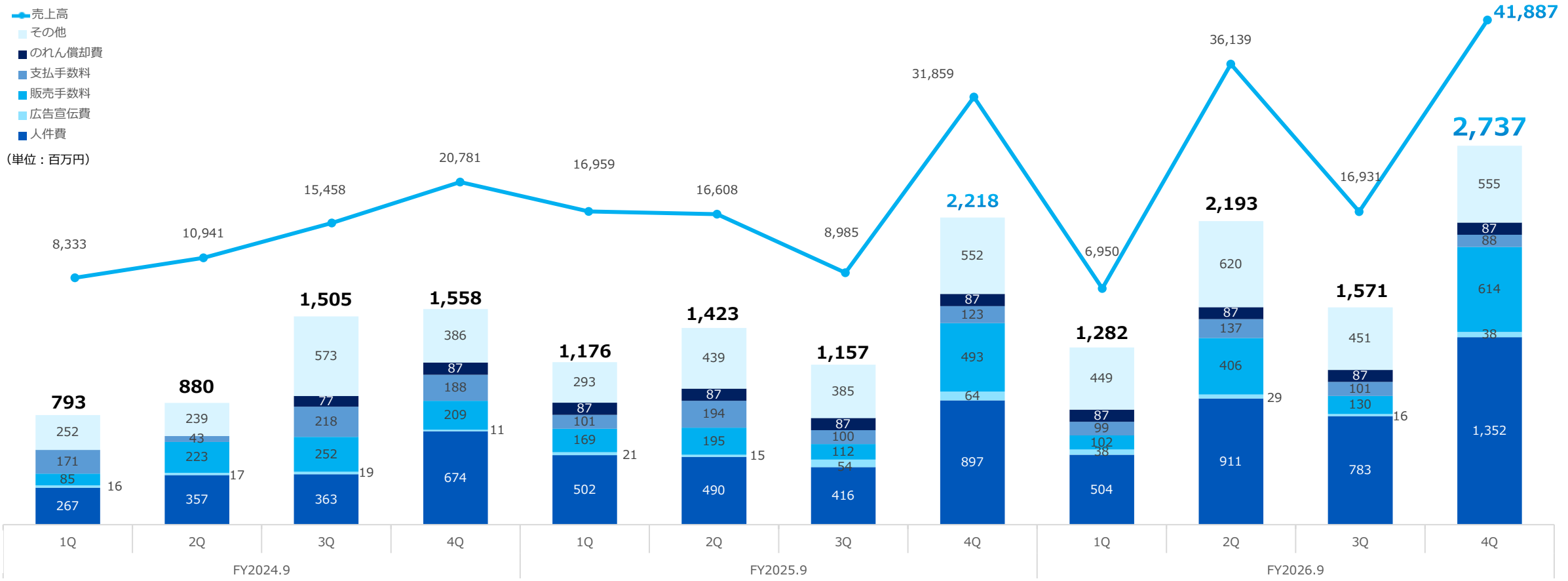
（※）販売用不動産・仕掛販売用不動産・前渡金

（※）新日本建物（単体）は3月決算であったがタスキHDが9月決算のため、過去実績も9月決算に置き換えて表示、FY2024.9 1Q～FY2024.9 2Qはタスキと新日本建物（単体）の単純合算数値

TASUKI HOLDINGS Life Platformer

販売管理費の推移

- 販売管理費は全体でYoY＋519百万円となるも、売上高販売管理費率はYoY△0.4ポイント改善
- 人件費は、新規採用・ZISEDAI連結による人員増のほか、インセンティブの増加などにより、YoY＋455百万円
- 顧客への直接販売の取り組みが奏功し、販売手数料を抑制、売上高に対する販売手数料比率がYoY△0.1ポイント改善

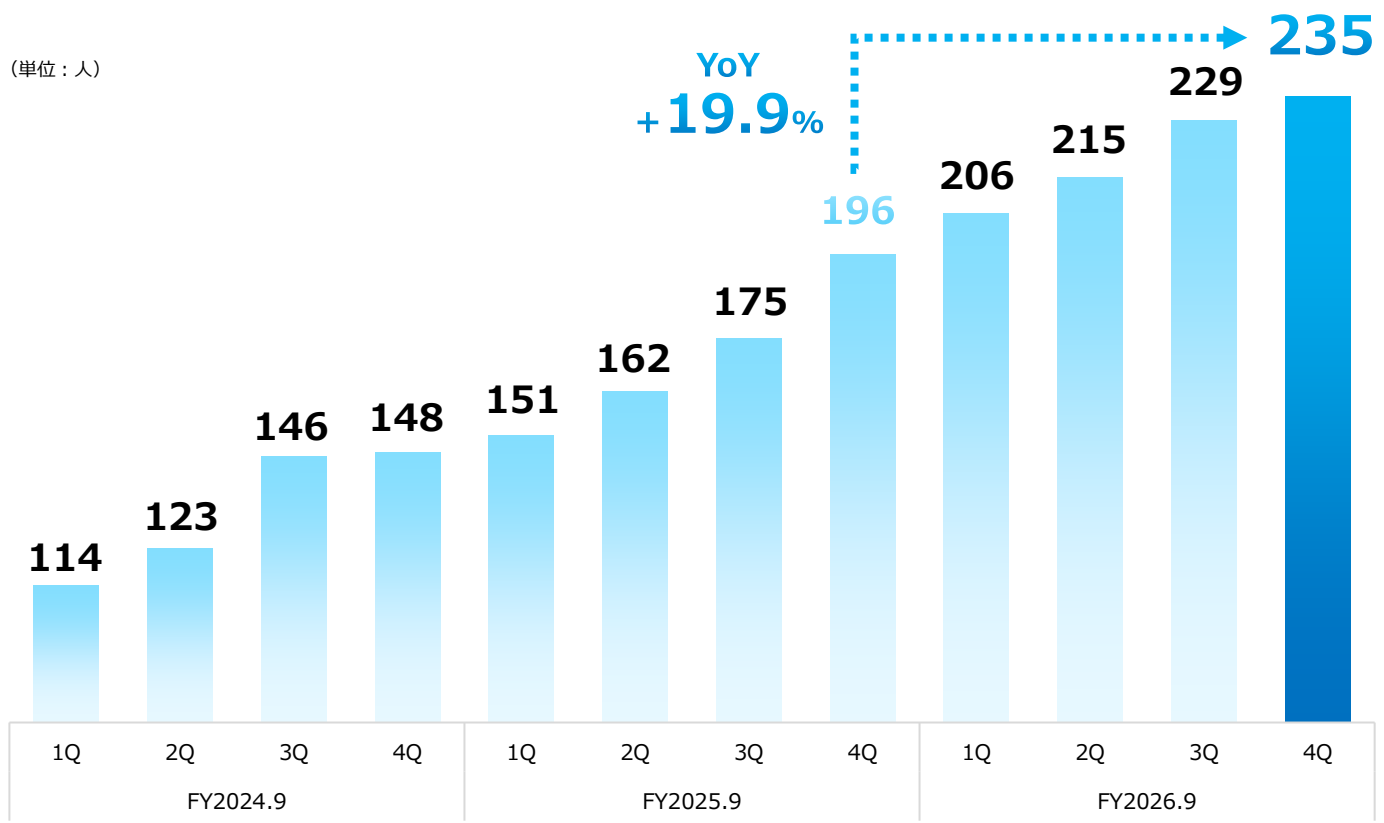


（※）新日本建物（単体）は3月決算であったがタスキHDが9月決算のため、過去実績も9月決算に置き換えて表示、FY2024.9 1Q～FY2024.9 2Qはタスキ（タスキプロス連結）と新日本建物（単体）の単純合算数値

役職員数の推移

- 事業規模の拡大に対応し、ガバナンス機能のより一層の強化を図るため、コーポレート部門の人員を増強

職能別グループ役職員数の推移（※）



職能別の内訳（※）

（単位：人）

	FY2026.9 3Q	FY2026.9 4Q	増減
アクイジション	91	**90**	-1
ミドルオフィス	68	**69**	+1
コーポレート	42	**49**	+7
AI Dynamics (AID)	24	**21**	-3
Finance Consulting	4	**6**	+2
計	229	**235**	+6

中期経営計画進捗状況

アクイジションスタッフ

48名（FY2024.9） ▶ **90名**（FY2026.9 4Q） ▶ **100名**（FY2027.9（計画））

進捗率 **80.8%**

（※）常勤役員・契約社員・ 業務委託・フリーランスを含む、派遣社員を除く
FY2024.9 1Q～FY2024.9 2Qはタスキ（タスキプロス連結）と新日本建物（単体）の単純合算数値
新日本建物（単体）は3月決算であったがタスキHDが9月決算のため、過去実績も9月決算に置き換えて表示

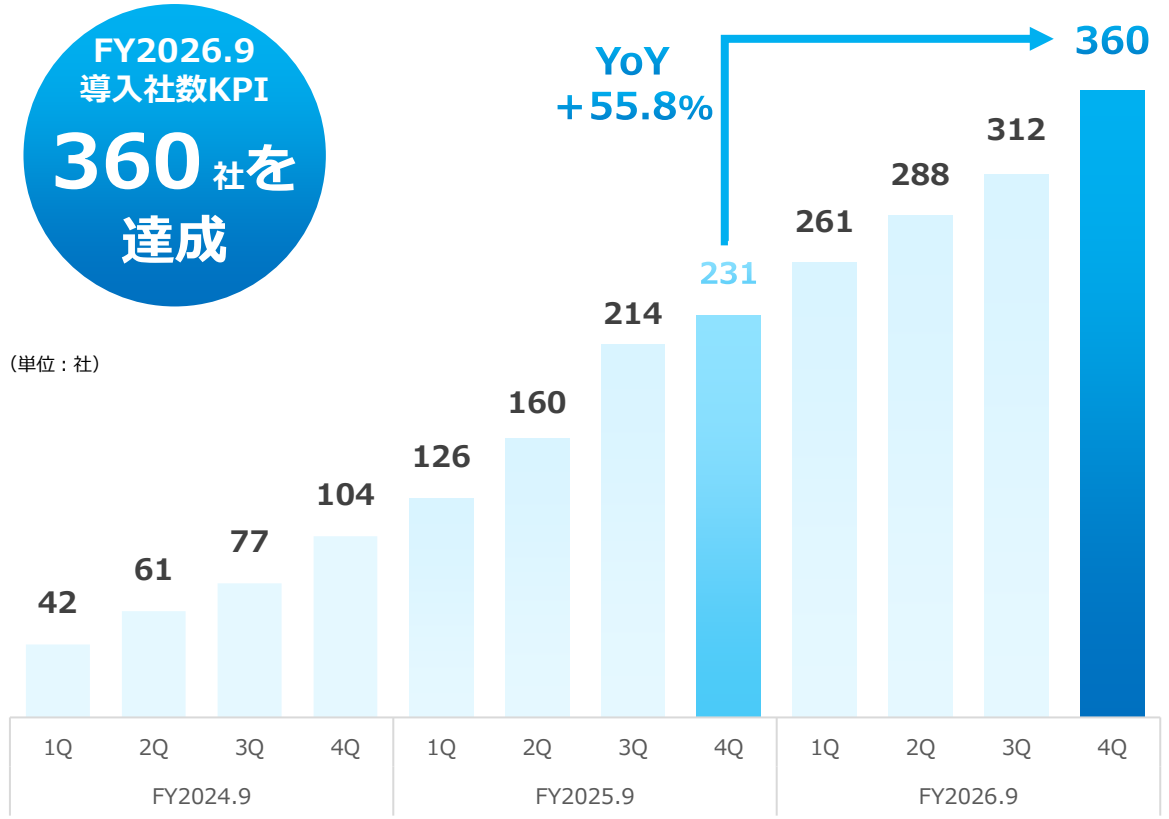
index

1. FY2026.9 業績
2. 事業の状況
3. 株主還元と配当方針
4. FY2027.9 通期計画
5. appendix

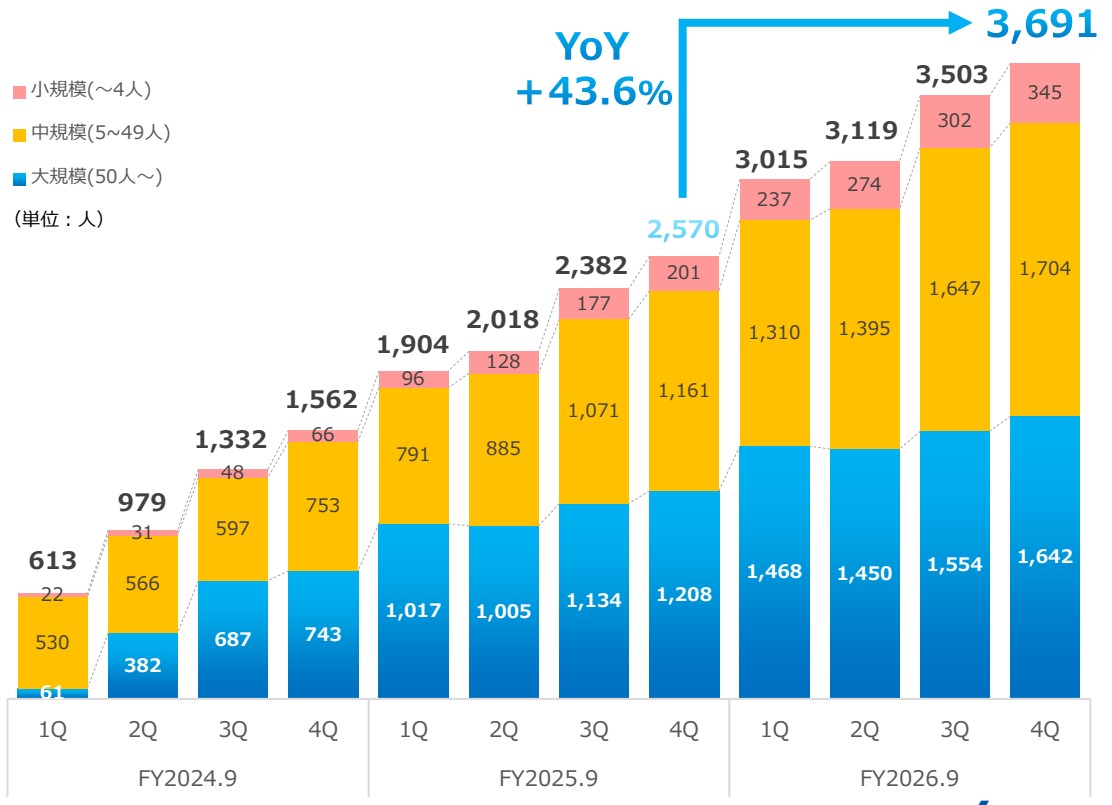
【AI Dynamics（AID）事業】ZISEDAI LAND営業状況

- 導入社数は4Qで新たに48社を積み上げ、FY2026.9 KPIの360社を達成
- 追加機能の開発・実装を背景にエンタープライズ企業のリード獲得が増加、複数企業においてトライアル導入が進行中

導入社数実績の推移



利用規模別のユーザー数推移



【AI Dynamics（AID）事業】ZISEDAI アップデート状況

- 【ZISEDAI LAND】HENNGE株式会社が提供するHENNGE OneとSSO（シングルサインオン）連携の対応をスタート
- 【ZISEDAI TOUCH&PLAN】東京23区以外にも利用可能エリアが拡大。全国展開への第一歩

シングルサインオンに対応

HENNGE One × ZISEDAI LAND

・企業のセキュリティ意識の向上に合わせSSO対応のアップデートを開始



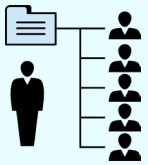
1. シームレスなログイン環境

【HENNGE One】の認証で【LAND】へアクセス可能、個別のID・パスワード入力の手間が軽減



2. セキュリティの向上

多要素認証（MFA）など、【HENNGE One】の高度な認証機能で不正アクセスリスクを低減



3. 運用負荷の軽減

【HENNGE One】の認証基盤でアカウントを一元管理、ユーザー企業における権限管理が効率化

全国展開が始動

・これまで東京23区のみであったサービス対応範囲を拡大
・複数拠点を持つ大企業にも販売促進が可能に

札幌市	仙台市	さいたま市
東京都（※）	松戸市	船橋市
横浜市	川崎市	名古屋市
大阪市	神戸市	福岡市

（※）島しょ部を除く



エンタープライズ向け機能強化と全国サポート体制の構築により、全国に拠点を有する大企業の新規開拓を推進

【AI Dynamics（AID）事業】新規サービスを開始

- レジデンス向けインターネット接続サービス【ZISEDAI NET】の提供を開始
- 不動産開発を起点としたデジタルインフラ事業の取り組みも促進

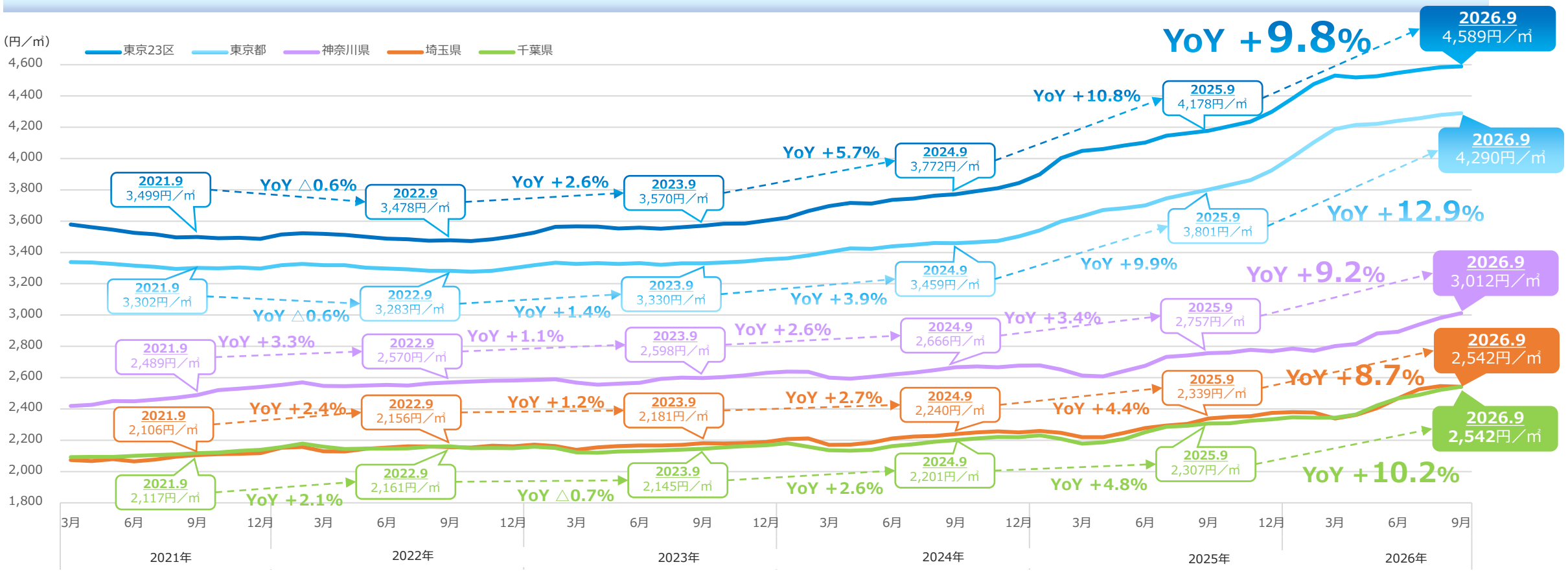




【Life Platform事業】賃料の推移

- シングル向け物件の賃料は、東京23区で依然として約10%の上昇が続くほか、1都3県の上昇率が加速
- 賃料上昇により物件の収益力が向上し、販売価格への転嫁余地が拡大、良好な事業環境が継続

シングル向け賃貸物件（※）の地域別平均賃料推移（１㎡あたり）

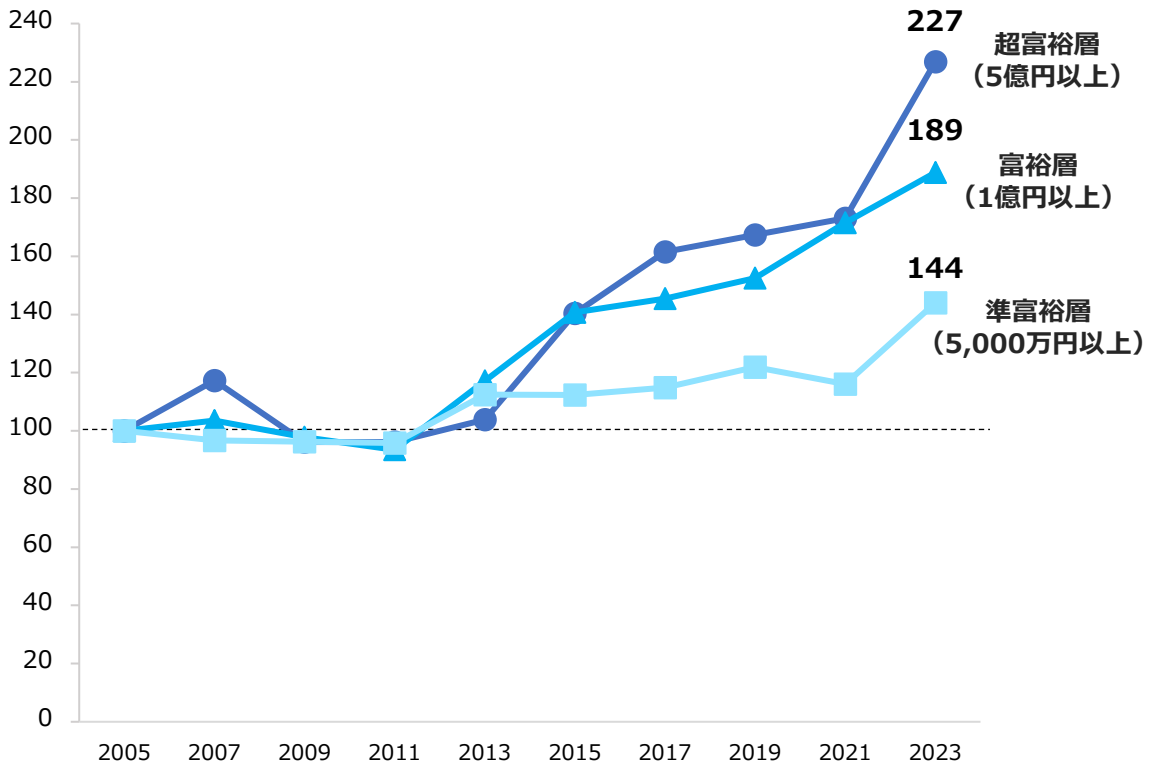


出所：株式会社LIFULL「LIFULL HOME'Sマーケットレポート（2026年7～9月版）」をもとに、当社作成
（※） ワンルーム、1K、1DK、1LDK、2K物件が対象

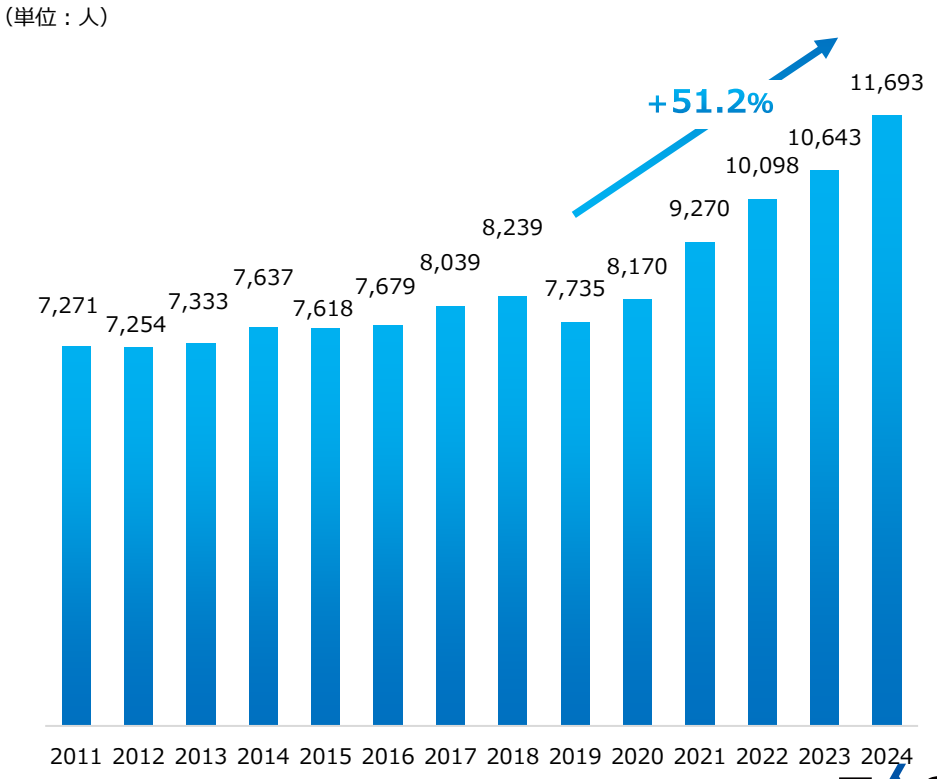
【Life Platform事業】成長する国内富裕層市場

- 富裕層世帯数は増加傾向にあり、超富裕層の世帯は2005年と比較して2.3倍
- 相続財産が3億円を超える被相続人の数は増加傾向にあり、特に近年はその傾向が顕著に現れている

準富裕層以上の世帯数増加率（2005年＝100）



相続財産3億円超の被相続人数の推移

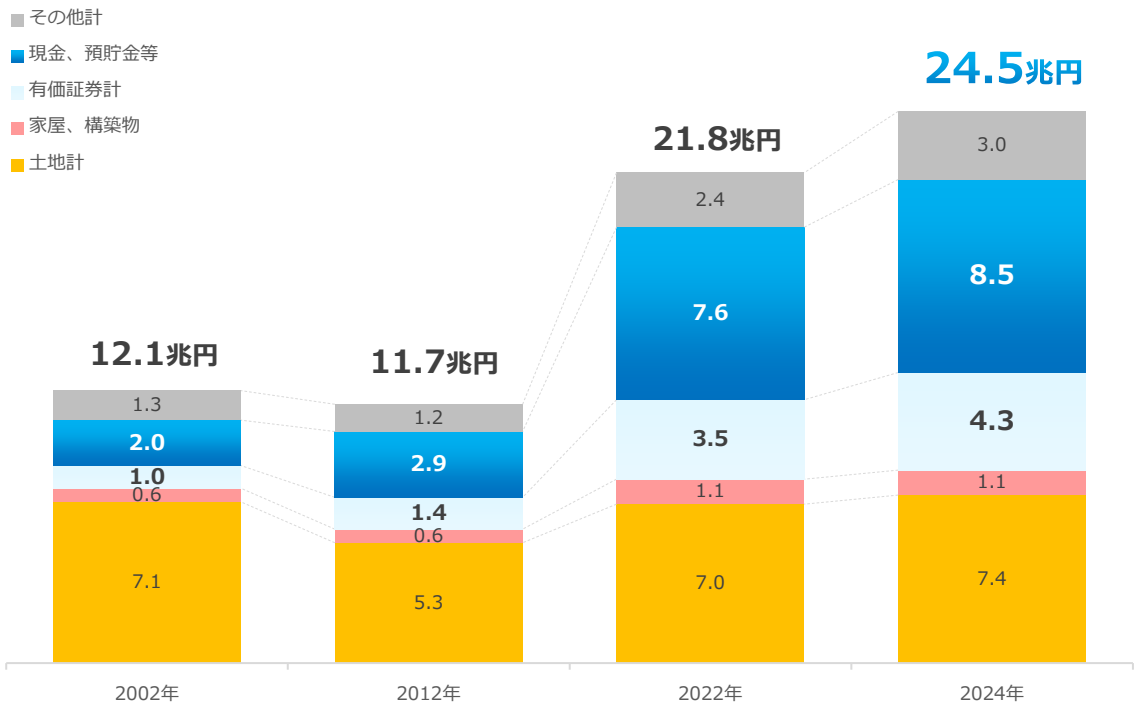


出所:国税庁「国税庁統計年報書」、総務省「全国家計構造調査（旧全国消費実態調査）」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」、東証「TOPIX」およびNRI「生活者１万人アンケート調査」、「富裕層アンケート調査」等によるNRI推計から当社作成

【Life Platform事業】不動産投資市場の展望

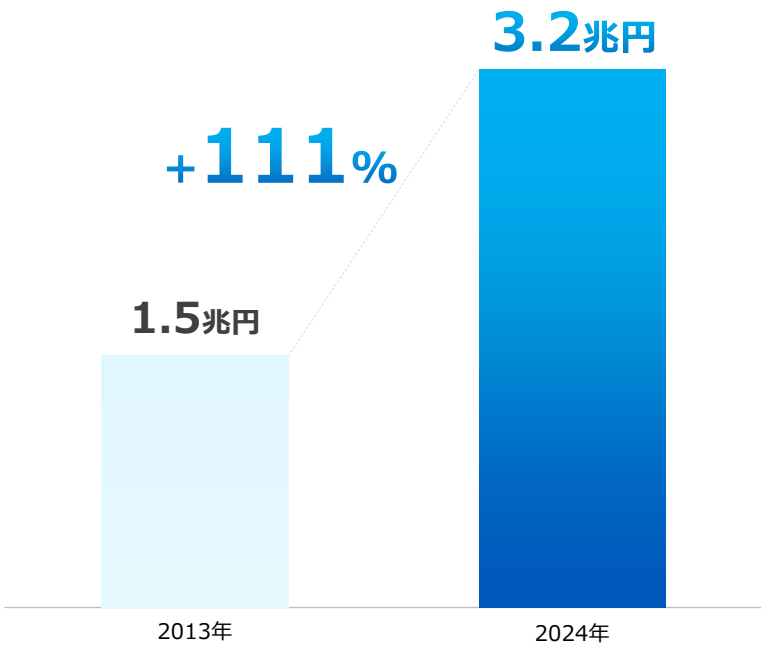
- 富裕層世帯の増加を背景として、相続における金融資産は約20年間で4倍以上となり、今後も増加する見通し
- 相続税対策ニーズの高まりとともに、投資用不動産の購入増加が期待される

種類別相続財産の推移



出所 :国税庁「統計情報」

相続税の納税額の増加

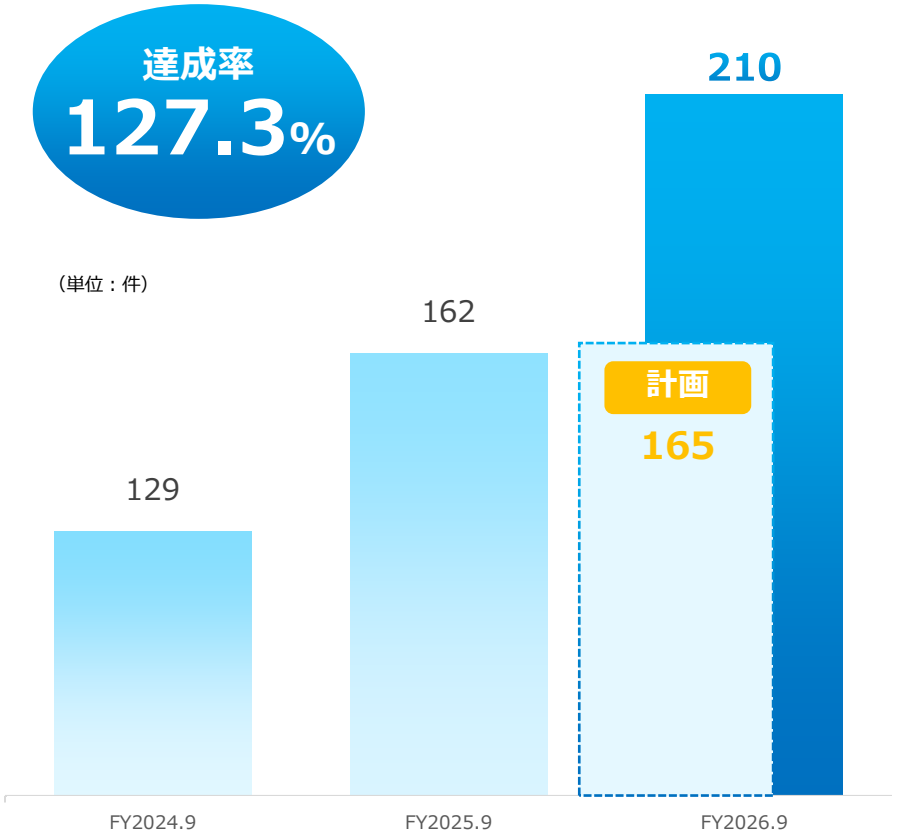


出所 :国税庁「平成26年分の相続税の申告状況について」
同「令和6年分 相続税の申告実績の概要」

【Life Platform事業】プロジェクトパイプラインの獲得（仕入）状況

- 新規採用者のオンボーディングが奏功し仕入件数はKPIを大幅に上回る着地、FY2027.9計画の達成に向けて視界良好
- 資産コンサルティングでは既存プロジェクトの大型化に加え、新規エリア（大阪市、福岡市）を含む25件を積み上げ

IoTレジデンス・リファイニング仕入件数推移



資産コンサルティングパイプライン

No.	プロジェクト名		事業面積
1	さいたま市中央区上落合８丁目PJ	4Q新規	751㎡～1,000㎡
2	新宿区西新宿８丁目PJ	4Q新規	
3	杉並区高円寺南１丁目PJ	4Q新規	
4	荒川区町屋３丁目PJ	大型化	
5	相模原市南区松が枝町PJ		
6	墨田区立花６丁目		
7	さいたま市浦和区本太３丁目PJ		
8	府中市宮町ⅡPJ		
9	柏市あけぼの４丁目PJ	4Q新規	501㎡～750㎡
10	練馬区北町１丁目ⅡPJ	4Q新規	
11	福岡市箱崎３丁目PJ	4Q新規	
12	墨田区本所４丁目ⅡPJ		
13	板橋区十条仲原１丁目PJ		
14	品川区大井５丁目PJ		
15	荒川区西日暮里１丁目PJ		
16	荒川区荒川４丁目PJ		
17	横浜市鶴見区生麦４丁目PJ	4Q新規	251㎡～500㎡
18	荒川区東日暮里５丁目ⅡPJ	4Q新規	
19	文京区千石４丁目ⅡPJ	4Q新規	
20	豊島区西池袋２丁目PJ	4Q新規	
21	江東区扇橋３丁目PJ	4Q新規	
22	大阪市北区大淀中５丁目PJ	4Q新規	

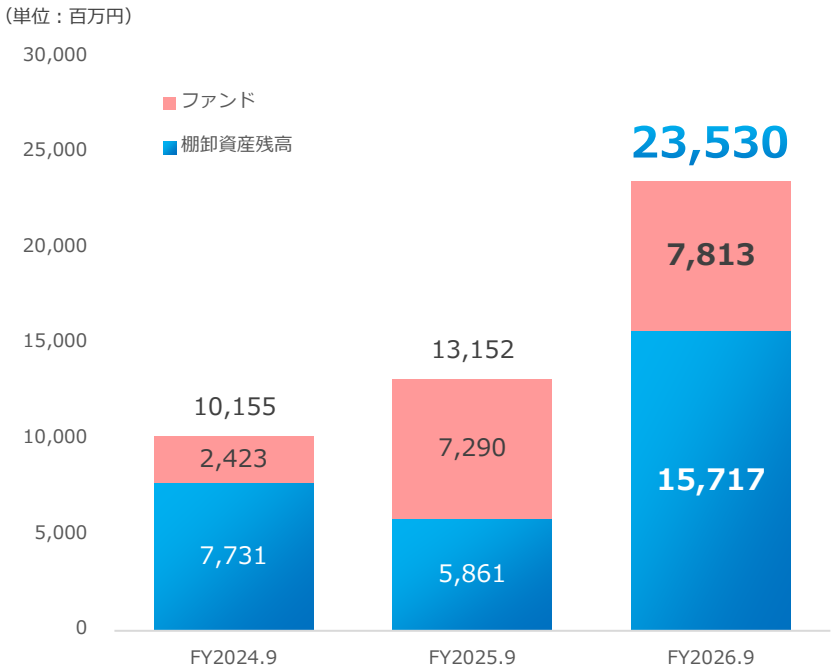
No.	プロジェクト名		事業面積
23	墨田区八広３丁目PJ	4Q新規	251㎡～500㎡
24	文京区大塚５丁目ⅡPJ	4Q新規	
25	福岡市箱崎２丁目PJ	4Q新規	
26	板橋区清水町PJ	大型化	
27	世田谷区上馬２丁目PJ	大型化	
28	品川区荏原６丁目PJ		
29	杉並区荻窪５丁目PJ		
30	墨田区東向島２丁目PJ		
31	豊島区千早２丁目PJ		
32	北区上十条１丁目ⅡPJ		
33	港区芝２丁目PJ		
34	墨田区本所４丁目PJ		
35	横浜市鶴見区生麦１丁目PJ		
36	北区中里２丁目PJ		
37	豊島区南池袋３丁目PJ		
38	文京区本駒込４丁目PJ		
39	北区王子４丁目PJ		
40	横浜市西区中央２丁目PJ		
41	荒川区東日暮里５丁目PJ		
42	福岡市博多区千代２丁目PJ	4Q新規	101㎡～250㎡
43	大田区大森北２丁目PJ	4Q新規	
44	台東区寿４丁目PJ	4Q新規	

No.	プロジェクト名		事業面積
45	台東区松が谷２丁目PJ	4Q新規	101㎡～250㎡
46	江東区福住１丁目PJ	4Q新規	
47	福岡市博多区吉塚６丁目PJ	4Q新規	
48	稲荷町ⅢPJ	4Q新規	
49	文京区千石４丁目PJ		
50	横浜市神奈川区松本町２丁目PJ		
51	北区中里１丁目PJ		
52	台東区蔵前２丁目PJ		
53	板橋区板橋２丁目PJ		
54	江東区扇橋２丁目		
55	新宿区北新宿１丁目PJ		
56	北区中里３丁目PJ	4Q新規	
57	練馬区北町２丁目PJ	4Q新規	100㎡以下
58	板橋区仲町PJ	4Q新規	
59	横浜市神奈川区七島町PJ		
60	台東区北上野２丁目PJ		
61	小田原市栄町１丁目PJ		
62	文京区大塚５丁目PJ		
63	江東区亀戸４丁目PJ		
64	新宿区高田馬場４丁目PJ		
65	千代田区外神田２丁目PJ		
66	文京区白山３丁目PJ		

【Life Platform事業】リファイニングの強化

- リファイニング物件の仕入と運用ファンドの増加により、AUMはYoY＋78.9%と大幅に伸長
- アセット件数の増加にともない賃料・手数料によるストック収入が拡大、収益構造の安定化に寄与
- リファイニングで展開する各ブランドにおいてブランディングを強化

AUM残高の推移



※AUM（運用資産残高）はファンド運用資産残高と棚卸資産残高の合計額

ブランドラインナップ

TASUKI RICHESSE

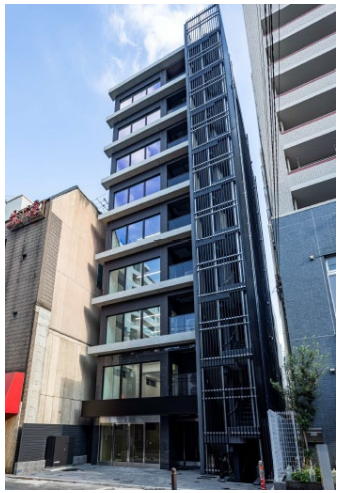
タスキ リシェス

フランス語で「豊かさ」「ハイクオリティ」という意味をもつリシェス
質の高い上質な暮らしを提供する、タスキが取得・保有する中古レジデンス

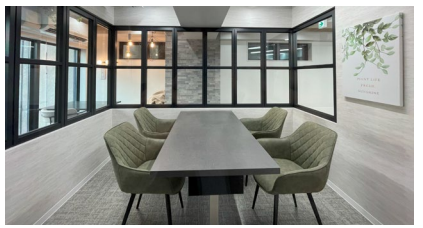
TASUKI PRIME

タスキ プライム

タスキが取得しリノベーション・リーシングにより新たな価値を生み出す
中古オフィス・商業ビル





TASUKI HOLDINGS
Life Platformer

index

1. FY2026.9 業績
2. 事業の状況
3. 株主還元と配当方針
4. FY2027.9 通期計画
5. appendix

配当方針

- 1株当たり当期純利益の40%以上の配当性向と累進配当を基本方針とし、株主還元を実施
- FY2026.9の配当金は、中間16円、期末34円（記念配当10円を含む）の合計50円を予定

株主価値向上の基本方針



	FY2026.9
配当性向	1株当たり当期純利益の 40 %以上
配当方針	累進配当
配当計画	1株当たり 50 円（予定）
配当回数	年 2 回 中間：16円／期末：34円（記念配当10円を含む）
配当利回り	4.90 % (2026年11月9日時点)

index

1. FY2026.9 業績
2. 事業の状況
3. 株主還元と配当方針
4. FY2027.9 通期計画
5. appendix

FY2027.9 通期計画

- FY2027.9は、第1次中期経営計画における計画を上方修正し、売上高1,353億円の達成を目指す
- 1株あたり配当金は、配当性向40%の57円を計画

(百万円)	FY2026.9　実績		FY2027.9　計画	
売上高	101,909	»	135,300	+32.8%
EBITDA (※)	14,132	»	17,100	+21.0%
営業利益	13,630	»	16,500	+21.1%
経常利益	11,661	»	13,900	+19.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,588	»	8,650	+14.0%
1株当たり配当金	普通配当 40円（中間:16円/期末:24円） + 記念配当 10円 ▶ 50円（予定）	»	57円 中間：23円/期末34円	+7円

（※）EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋株式報酬費用＋PPA(棚卸資産の評価替え)取崩額として算出

index

1. FY2026.9 業績
2. 事業の状況
3. 株主還元と配当方針
4. FY2027.9 通期計画
5. appendix


MISSION（果たすべき使命）
人を起点に。空間をデジタルに。
未来を変える仕組みをつくる。

会社概要

商号	株式会社 タスキホールディングス ｜ TASUKI Holdings Inc.
設立	2024年4月1日
資本金	62億8,689万円　※2026年9月30日現在
役職員	235名（正社員以外含）　※2026年9月30日現在
所在地	東京都港区北青山2-7-9　日昭ビル7F
上場市場	東証プライム市場（証券コード：166A）

役員

代表取締役社長	柏村 雄	常勤社外監査役	古賀 一正
取締役	村田 浩司	社外監査役	南 健
取締役	近藤 学	社外監査役	熊谷 文麿
社外取締役	小野田 麻衣子		
社外取締役	大場 睦子		
社外取締役	野口 謙吾		

グループ会社（持分比率）

- 株式会社タスキ（100%）
- 株式会社新日本建物（100%）
- 株式会社オーラ（71.1%）
- 株式会社タスキプロス（100%）
- 株式会社ZISEDAI （100%）
- 株式会社タスキパートナーズ（100%、非連結）
- 株式会社タスキウェルスマネジメント（100%、非連結）

経営陣/スキルマトリックス

多様かつ独立した視点から経営課題等に対して客観的な判断を行うことを目的として、ジェンダーやスキル、経験などの多様性を考慮して取締役/監査役を選任し、高い経営の透明性を確保

氏名 / 役職 / 主な経歴	専門性・経験					
	企業経営	財務・会計	法務・リスクマネジメント	営業・マーケティング	IT・テクノロジー	ESG・ダイバーシティ
 **代表取締役社長　柏村 雄** 株式会社タスキの創業メンバーとして管理業務全般に関する豊富な経験を有する。2021年～2024年には株式会社タスキの代表取締役社長を務め、強いリーダーシップを発揮し、DX推進による業務効率の向上及びAID事業の発展に貢献。	●	●	●	●	●	
 **取締役　村田 浩司** 株式会社タスキの代表取締役社長を現任。株式会社タスキの創業メンバーであり、2018年からは同社代表取締役社長として、IoTレジデンスの開発事業立ち上げに尽力し、事業規模と事業領域の拡大に寄与。	●			●		●
 **取締役　近藤 学** 株式会社新日本建物の代表取締役を現任しており、企業経営の豊富な経験を有する。不動産事業における専門的な知識と幅広い人脈を強みに、業容拡大と企業価値の向上に貢献。	●			●		●

経営陣/スキルマトリックス

氏名 / 役職 / 主な経歴	専門性・経験					
	企業経営	財務・会計	法務・リスクマネジメント	営業・マーケティング	IT・テクノロジー	ESG・ダイバーシティ
 **取締役　小野田 麻衣子** 社外 独立 予防医学、人工知能（AI）及びロボット工学の研究に取り組んでいるほか、AI企業等のフェローを歴任し、ロボット開発を行うなど多岐にわたり活躍。	●				●	●
 **取締役　大場 睦子** 社外 独立 公認会計士として会計・財務に関する専門的な知見及び幅広い経験を有しており、これらの知見を活かして女性の視点からのガバナンス体制強化を行う。	●	●	●			
 **取締役　野口 謙吾** 社外 独立 金融機関における長年の業務経験や企業経営者としての豊富な経験と高い知見を有しており、金融・財務の観点からガバナンス体制の強化を推進する。	●	●	●			●
 **常勤監査役　古賀 一正** 社外 独立 金融機関における長年の業務や他社における財務経理部長、総務部長としての経験を有しており、財務及び会計に関する知見を活かして公正かつ客観的な立場から業務執行状況を監査。	●	●	●			●
 **監査役　南 健** 社外 独立 上場企業の管理管掌役員や、スタートアップのCFO、社外取締役、監査役の経験を有しており、資金調達・資本政策・管理会計などの幅広い経験と知識を生かして経営の健全性及び透明性・効率性を確保。	●	●				
 **監査役　熊谷 文麿** 社外 独立 弁護士としての幅広い見識と社外取締役としての経験を有しており、法律的な見地から当社の企業経営全般に対して客観的な検証を行い、経営の健全性及び透明性を確保。	●		●			●

DISCLAIMER

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

お問い合わせ先

M&A・グループ戦略部
MAIL　ir@tasuki-holdings.co.jp
IR情報　https://tasuki-holdings.co.jp/ir/